

中学生のみなさん、こんにちは。ようこそ、川崎工科高校ホームページへ！

はじめまして、校長の角田(ツノダ)と申します。

このホームページを見ている君は、たぶん高校入試という、これまでの人生のなかでも最大級の“試練”を目前にしている中学3年生かな。あるいは、工科高校に興味を持った中学1・2年生かな。いずれにしても、高校選びの第一歩を踏み出したところだと思います。そこで、ここでは「川崎工科高校」についてご案内したいと思います。

工科高校って、工業高校じゃないの？ よく分からないよね。簡単に言うと、4年前に川崎工業高校が完校(役割を終了)し、その校舎を使って「新しいタイプの専門高校」として川崎工科高校が誕生しました。

「名前だけ変えたんじゃないの？」

そうではないんです。次の川崎工科高校の設置の目的を見てください。

川崎工科高校「設置の目的」

情報化・国際化・高齢化の進展や科学技術の高度化、地球環境問題への意識の高まりといった社会の変化に応じた工業教育を展開するとともに、専門分野を深めたり、進学して継続的に学習したりするなどの多様な進路希望に対応し、これからの工業分野で総合的な視野を持って活躍する人材の育成をめざす。

一言でいうと、社会の変化に対応したエンジニアを育成する専門高校です。理数科学教育の実践校として、大学進学にも対応したカリキュラムになっているので、これまでの工業高校のイメージで入学すると勉強が大変だよ。将来エンジニアになりたい君、理工系大学への進学や一部上場企業への就職を目指し、大学教授の方もビックリするくらい高度な実験設備がある川崎工科高校で学んでみないか。

今年4月の読売新聞朝刊に次のような見出しの記事が掲載されました。NIE (Newspaper In Education)の盛んな中学校では、この記事を授業の中で取り上げたかもしれませんね。

**東大・京大 推薦・AO入試 2016年度から
求む異端児 「受験秀才 世界で見劣り」**

あの東大・京大が異端児？を求めているんだ。企業だって求めているよ。ではこの異端児という言葉はなにを意味しているのだろうか。たとえば、とてもユニークな発想をする人やマニアックな人です。「えっ、じゃ僕だって私だって東大にいけるかも・・・」。そのとおりです。もちろん川崎工科高校もこの「異端児」を歓迎だし、東大・京大を目指すことだって夢じゃない！

2013年7月
角田